

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ライオン		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 1日		～ 2025年 3月 3日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15名	(回答者数) 13名
○従業者評価実施期間	2025年 3月 3日		～ 2025年 3月 7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 12日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	家族支援や、他機関との連携が円滑に行いやすいシステムです。	面談や、グループカウンセリングで保護者の困り感、不安等を受けとめどのようにしたらよいか前向きな子育てへと一緒に考えていっています。学校支援を始め、他機関との連携を行い、さまざまな視点からアドバイスをもらっています。	引き続き、保護者との繋がりや、他機関との連携を継続していきます。兄弟児支援も視野に入れ家族全体を支援できるように取り組んでいきます。
2	子どもたちの気持ちを表現できるように、気持ちを受け止めたり、話しができる機会を作っています。	個別で話を聞いたり、グループで話をし合える機会を作っています。気持ちは言葉で伝えていいんだよと伝え、伝えられたことを認めています。	グループでの話し合いが出来る機会を、定期的に設定したら友達関係もより繋げる事が出来たかと思っています。
3	学びの時間を設け、曜日でさまざまな学びが出来る時間を設けています。	国語、算数、英語の他に、性教育、道徳、マインドフルネス、ストレッチなど取り入れています。性教育では、プライベートゾーンの他に、赤ちゃんの育ち、パーソナルスペース、人との違い、道徳では、睡眠の大切さ、歯の大切さ、人は間違える事はあるし、間違ってもいいことなど子どもに合わせて伝えていきました。	グループで考える機会を作るとさらに意見の出し合いが出来たかと思っています。子ども達からもどんなことを知りたいかリクエストを取っていくとさらに意欲的に参加できたかと思っています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の子供達との交流が少ないです。	地域での交流や、児童会館との連携等はなく行えていません。	地域の公園等での交流等を意識して行っています。
2			
3			